# ≪よこしん≫
# 景況レポート

NO.137
2025年10月

YOKOSHIN BUSINESS INFORMATION


景気動向調査 …… 1

2025年7～9月期実績、10～12月期予想

◇ 全業種総合　業況ＤＩは横ばい、売上額・収益ＤＩ共に改善　2
来期の業況ＤＩは改善、売上額・収益ＤＩ共に悪化する見込み

◇ 製造業　業況・売上額・収益ＤＩ共に改善　3
来期は業況・売上額・収益ＤＩ共に悪化する見込み

◇ 卸売業　業況ＤＩは改善、売上額ＤＩは悪化　4
来期は業況・売上額・収益ＤＩ共に改善する見込み

◇ 小売業　業況・売上額・収益ＤＩ共に悪化　5
来期も売上額・収益ＤＩ共に悪化が継続する見込み

◇ サービス業　業況ＤＩは悪化が継続
来期も業況ＤＩは悪化が継続する見込み

◇ 建設業　業況ＤＩは悪化、売上額・収益ＤＩ共に改善　6
来期の業況ＤＩは改善する見込み

◇ 不動産業　業況・収益ＤＩ共に悪化
来期は業況・売上額・収益ＤＩ共に改善する見込み

◇ コメント　7

特別調査「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について」…… 8

・米国の経済社会政策（関税等）の影響について
　これまでの売上への影響　特に影響がなかった（５８.９％）
　今後の売上への影響　特に影響がないと予測する（４６.０％）
・中国経済が減速した際の影響見込みについて　特に影響を見込んでいない（６６.２％）
・今後の外国為替相場の水準および物価上昇がもたらす影響について
　今後の外国為替相場の水準　自社には関係ない（３２.５％）
　物価上昇傾向がもたらす影響　悪い影響をもたらしている（３８.６％）
・今後見直したい取組みについて　既存顧客との関係強化（１６.６％）
・地域金融機関への体制面での要望について　要望に対する迅速な対応（２８.９％）


このまちの未来をともにつくる

横浜信用金庫

# 景気動向調査　2025 年 7～9 月期実績、10～12 月期予想

## 《 概 況 》

### 業況DI（全業種総合）は横ばい、来期は改善する見込み

今期の全業種総合業況判断ＤＩは、前期比横ばいの9.5となった。

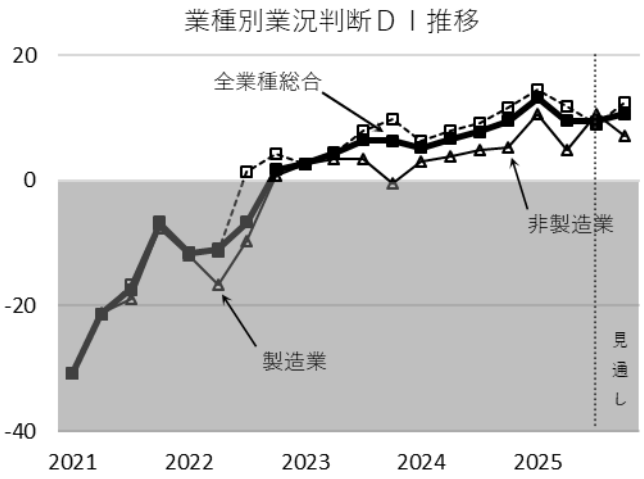
製造業は前期比５.８ポイント上昇の１０.７、非製造業は同2.9ポイント低下の8.9となった。

来期の全業種総合業況判断ＤＩは、今期比１.２ポイント上昇の１０.７と改善を見込む。

＜ 業況ＤＩ天気図＞

| | 2025年 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|
| 全　体 | 9.5 | 9.5 | 10.7 | ↗ |
| 製造業 | 4.9 | 10.7 | 7.1 | ↘ |
| 非製造業 | 11.8 | 8.9 | 12.4 | ↗ |
| 卸売業 | 9.9 | 11.3 | 23.9 | ↗ |
| 小売業 | ▲12.1 | ▲14.1 | ▲8.8 | ↗ |
| サービス業 | 9.9 | 3.0 | 1.0 | ↘ |
| 建設業 | 32.5 | 30.0 | 32.5 | ↗ |
| 不動産業 | 12.1 | 9.0 | 10.4 | ↗ |

低調 ←　→ 好調



**≪調査要領≫**

- 調査時期／2025年9月上旬
- 調査対象／当金庫取引先（法人･個人事業者）
- 調査方法／営業店職員による聞き取り調査
- 分析方法／ＤＩ（Diffusion Index）による分析
  ※ＤＩとは、「良い・増加・上昇・過剰」の回答全体に占める割合と「悪い・減少・下降・不足」の回答全体に占める割合との差を表し、景気判断や景気変化の方向を計る数値

| | 調査先 | 回答先 | 回答率 |
|---|---|---|---|
| 製造業 | 225 | 225 | 100.0% |
| 卸売業 | 71 | 71 | 100.0% |
| 小売業 | 93 | 92 | 98.9% |
| サービス業 | 102 | 101 | 99.0% |
| 建設業 | 120 | 120 | 100.0% |
| 不動産業 | 67 | 67 | 100.0% |
| 合　計 | 678 | 676 | 99.7% |

# 全業種総合

（回答先 676）

＜ 今 期 ＞

**業況 DI は横ばい、**
**売上額･収益 DI 共に改善**

今期の全業種総合業況判断ＤＩ（良い－悪い）は、横ばいの９.５となった。

売上額ＤＩ（増加－減少）は前期比３.４ポイント上昇の１８.６、収益ＤＩ（増加－減少）は同３.５ポイント上昇の１１.８となった。

販売価格ＤＩ（上昇―下降）は前期比１.８ポイント低下の２７.０、仕入価格ＤＩ（上昇－下降）は同０.５ポイント上昇の４２.５となった。

在庫ＤＩ（過剰－不足）は前期比２.６ポイント上昇の２.６、資金繰りＤＩ（楽－苦しい）は同３.７ポイント上昇の１.０となった。

借入実施企業割合は２４.８％と、前期比１.０ポイント低下した。設備投資実施企業割合は、同０.５ポイント低下の１３.５％であった。

雇用面では人手ＤＩ（過剰－不足）が、前期比２.８ポイント低下の－２３.３となった。

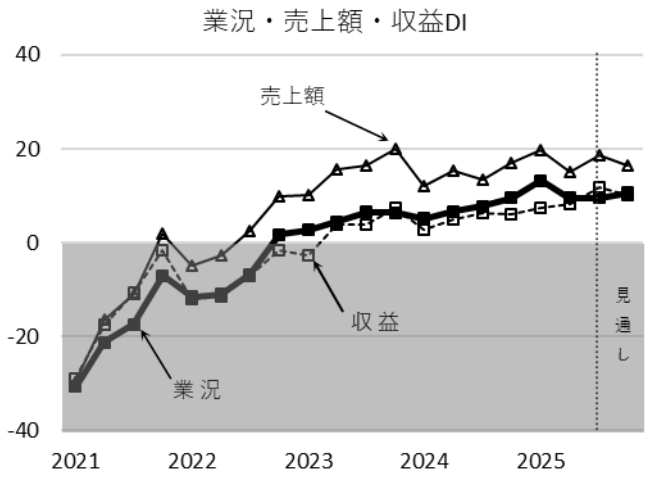
＜ 来 期 ＞

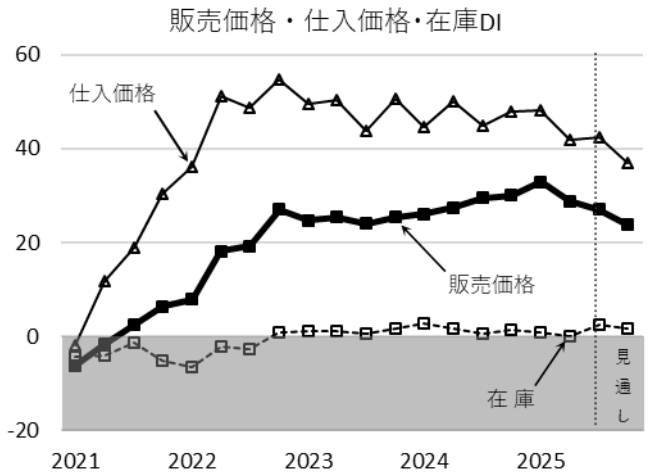
**来期の業況DIは改善、**
**売上額･収益DI共に悪化する見込み**

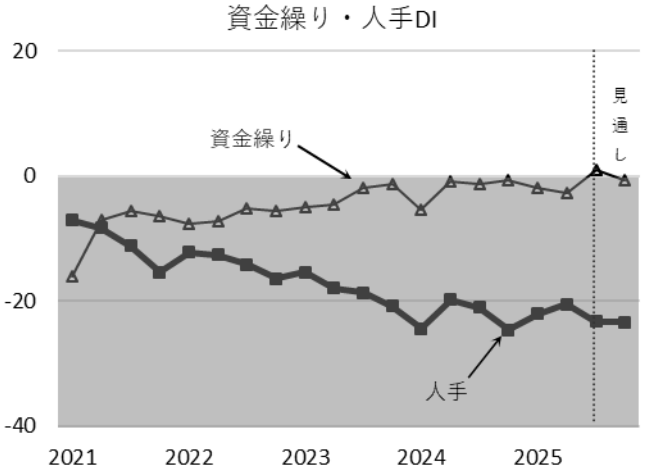
来期の全業種総合業況判断ＤＩは今期比１.２ポイント上昇の１０.７、売上額ＤＩは同２.１ポイント低下の１６.５、収益ＤＩは同１.６ポイント低下の１０.２となり、業況ＤＩは改善、売上額・収益ＤＩは共に悪化を見込んでいる。

販売価格ＤＩは今期比３.２ポイント低下の２３.８を見込んでいる。仕入価格ＤＩは同５.６ポイント低下の３６.９を見込む。

人手ＤＩは今期比０.１ポイント低下の－２３.４と小幅ながら悪化を見込んでいる。




＜ 全業種総合 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 9.5 | 13.2 | 9.5 | 9.5 | 10.7 | ↗ |
| 売上額 | 17.1 | 19.7 | 15.2 | 18.6 | 16.5 | ↘ |
| 収益 | 5.9 | 7.4 | 8.3 | 11.8 | 10.2 | ↘ |
| 販売価格 | 30.1 | 32.9 | 28.8 | 27.0 | 23.8 | ↘ |
| 仕入価格 | 47.9 | 48.3 | 42.0 | 42.5 | 36.9 | ↘ |
| 在庫 | 1.4 | 0.9 | 0.0 | 2.6 | 1.7 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 0.6 | ▲ 1.9 | ▲ 2.7 | 1.0 | ▲ 0.6 | ↘ |
| 人手 | ▲ 24.6 | ▲ 22.1 | ▲ 20.5 | ▲ 23.3 | ▲ 23.4 | ↘ |

# 製造業

（回答先 225）

＜ 今 期 ＞

## 業況・売上額・収益 DI 共に改善

今期の業況判断ＤＩは、前期比５.８ポイント上昇の１０.７となった。

売上額ＤＩは前期比８.９ポイント上昇の１８.７、収益ＤＩは同７.１ポイント上昇の１４.７であった。

販売価格ＤＩは前期比１.８ポイント低下の２２.２、原材料価格ＤＩは同４.０ポイント上昇の４５.３となった。

原材料在庫ＤＩは、前期比４.５ポイント上昇の６.７、資金繰りＤＩは、同２.６ポイント上昇の－１.８となった。

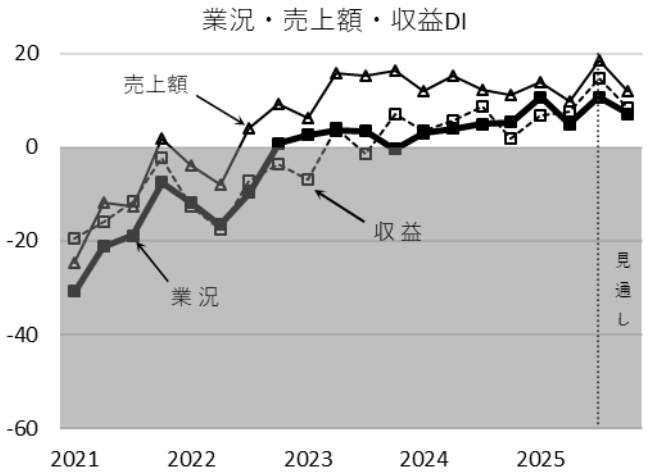
借入実施企業割合は２５.３％と、前期比１.４ポイント低下した。設備投資実施企業割合は、同５.０ポイント低下の１２.８％であった。

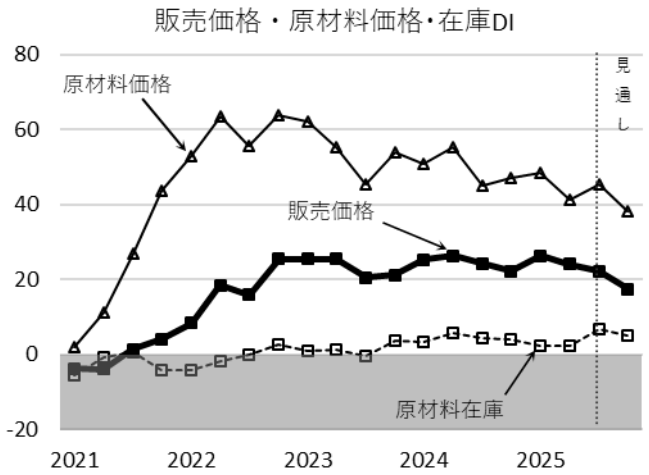
人手ＤＩは、前期比４.５ポイント低下し、－２４.９となった。

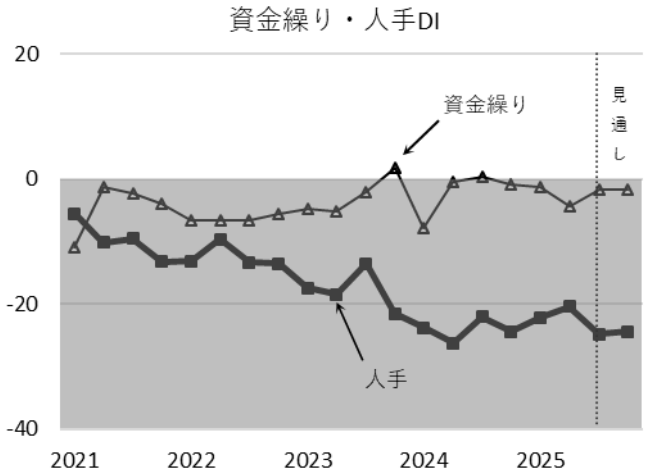
＜ 来 期 ＞

## 来期は業況・売上額・収益 DI 共に悪化の見込み

来期の業況判断ＤＩは今期比３.６ポイント低下の７.１、売上額ＤＩは同６.７ポイント低下の１２.０、収益ＤＩは同６.３ポイント低下の８.４を見込んでいる。




＜ 製造業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 5.3 | 10.7 | 4.9 | 10.7 | 7.1 | ↘ |
| 売上額 | 11.1 | 13.8 | 9.8 | 18.7 | 12.0 | ↘ |
| 収益 | 1.8 | 6.7 | 7.6 | 14.7 | 8.4 | ↘ |
| 販売価格 | 22.2 | 26.2 | 24.0 | 22.2 | 17.3 | ↘ |
| 原材料価格 | 47.1 | 48.4 | 41.3 | 45.3 | 38.2 | ↘ |
| 原材料在庫 | 4.0 | 2.2 | 2.2 | 6.7 | 4.9 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 0.9 | ▲ 1.3 | ▲ 4.4 | ▲ 1.8 | ▲ 1.8 | → |
| 人手 | ▲ 24.4 | ▲ 22.2 | ▲ 20.4 | ▲ 24.9 | ▲ 24.4 | ↗ |

**＜ 個別業種 ＞**

**改善が4業種、悪化が4業種**

**＜今 期＞**

10社以上回答のあった個別業種（８業種）の業況判断ＤＩは、改善が４業種、悪化が４業種であった。

電気機械器具は前期比３１.５ポイント上昇の３６.８、金属プレス・メッキは同２６.７ポイント上昇の０.０となった。

一方、一般機械器具は前期比２８.６ポイント低下の－３５.７、精密機械器具は同１６.７ポイント低下の７.１となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは１業種で改善、１業種で横ばい、６業種で悪化を見込んでいる。

＜注＞10先以上回答のあった個別業種（８業種）
プラスチック製品、金属製品・その他、金属プレス・メッキ、一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具、精密機械器具、食料品

＜ 業種別 業況判断DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 部品加工型 | 0.9 | 4.0 | 1.8 | 14.0 | 6.5 | ↘ |
| プラスチック製品 | 0.0 | ▲ 5.0 | ▲ 5.6 | 5.0 | ▲ 5.0 | ↘ |
| 金属製品・その他 | 1.3 | 11.8 | 8.8 | 19.4 | 12.5 | ↘ |
| 金属プレス・メッキ | 0.0 | ▲ 23.1 | ▲ 26.7 | 0.0 | ▲ 6.7 | ↘ |
| 機械器具型 | 19.7 | 17.1 | 11.3 | 7.0 | 1.4 | ↘ |
| 一般機械器具 | 38.5 | 20.0 | ▲ 7.1 | ▲ 35.7 | ▲ 42.9 | ↘ |
| 電気機械器具 | 22.2 | 33.3 | 5.3 | 36.8 | 26.3 | ↘ |
| 輸送用機械器具 | 11.1 | 37.5 | 25.0 | 10.0 | 10.0 | → |
| 精密機械器具 | 11.5 | ▲ 4.2 | 23.8 | 7.1 | 3.6 | ↘ |
| 消費財型 | 0.0 | 15.4 | 12.0 | 4.3 | 17.4 | ↗ |
| 食料品 | 0.0 | 21.4 | 14.3 | 7.1 | 21.4 | ↗ |

# 非製造業

（回答先 451）

## ■ 卸売業 （ 回答先 71 ）

**業況 DI は改善、売上額 DI は悪化、**
**来期は業況･売上額･収益 DI 共に**
**改善する見込み**

**＜今 期＞**

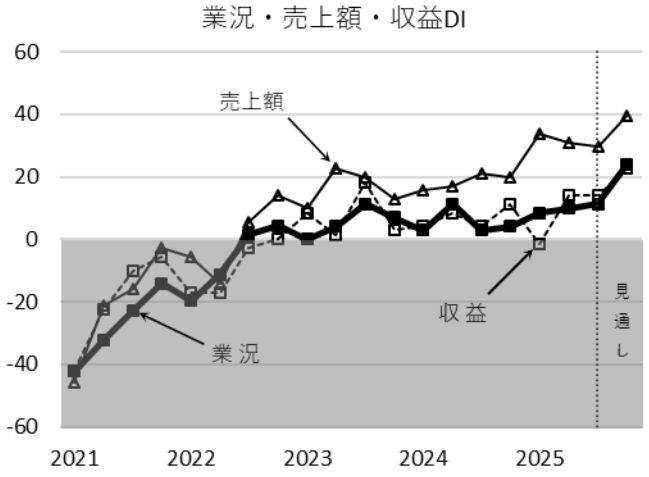
今期の業況判断ＤＩは、前期比１.４ポイント上昇の１１.３となった。

売上額ＤＩは前期比１.４ポイント低下の２９.６、収益ＤＩは同横ばいの１４.１となった。

販売価格ＤＩは前期比１.５ポイント低下の４０.８、仕入価格ＤＩは同２.８ポイント上昇の５３.５となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比１２.６ポイント上昇の２３.９、売上額ＤＩは同９.８ポイント上昇の３９.４、収益ＤＩは同８.４ポイント上昇の２２.５を見込んでいる。




＜ 卸売業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 4.2 | 8.5 | 9.9 | 11.3 | 23.9 | ↗ |
| 売上額 | 19.7 | 33.8 | 31.0 | 29.6 | 39.4 | ↗ |
| 収益 | 11.3 | ▲ 1.4 | 14.1 | 14.1 | 22.5 | ↗ |
| 販売価格 | 47.9 | 46.5 | 42.3 | 40.8 | 45.1 | ↗ |
| 仕入価格 | 57.7 | 56.3 | 50.7 | 53.5 | 47.9 | ↘ |
| 在庫 | 7.0 | 4.2 | 2.8 | 4.2 | 4.2 | → |
| 資金繰り | ▲ 2.8 | ▲ 4.2 | ▲ 1.4 | ▲ 2.8 | ▲ 7.0 | ↘ |
| 人手 | ▲ 16.9 | ▲ 12.7 | ▲ 14.1 | ▲ 22.5 | ▲ 23.9 | ↘ |

## ■ 小売業 （ 回答先 92 ）

**業況・売上額・収益 DI 共に悪化、**
**来期も売上額・収益 DI 共に**
**悪化が継続する見込み**

**＜今 期＞**

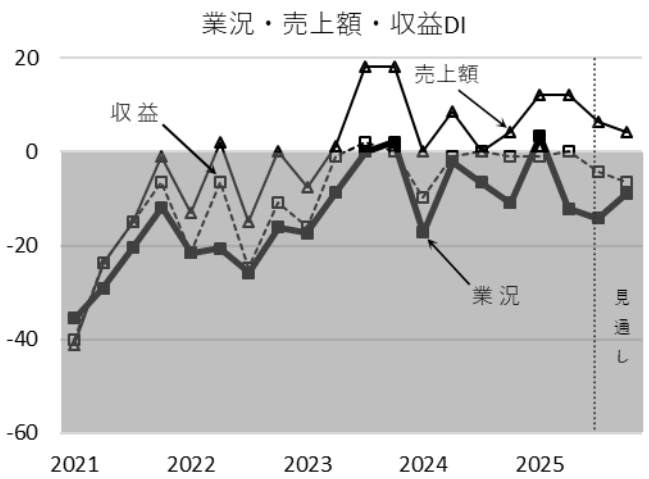
今期の業況判断ＤＩは、前期比２.０ポイント低下の－１４.１となった。

売上額ＤＩは前期比５.６ポイント低下の６.５、収益ＤＩは同４.３ポイント低下の－４.３となった。

販売価格ＤＩは前期比４.１ポイント低下の３４.４、仕入価格ＤＩは同６.５ポイント低下の４６.２となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比５.３ポイント上昇の－８.８、売上額ＤＩは同２.２ポイント低下の４.３、収益ＤＩは同２.２ポイント低下の－６.５を見込んでいる。




＜ 小売業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | ▲ 10.9 | 3.3 | ▲ 12.1 | ▲ 14.1 | ▲ 8.8 | ↗ |
| 売上額 | 4.3 | 12.2 | 12.1 | 6.5 | 4.3 | ↘ |
| 収益 | ▲ 1.1 | ▲ 1.1 | 0.0 | ▲ 4.3 | ▲ 6.5 | ↘ |
| 販売価格 | 37.0 | 38.9 | 38.5 | 34.4 | 30.1 | ↘ |
| 仕入価格 | 48.9 | 45.6 | 52.7 | 46.2 | 37.6 | ↘ |
| 在庫 | ▲ 2.2 | ▲ 2.2 | 0.0 | 3.2 | 0.0 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 7.6 | ▲ 12.2 | ▲ 11.0 | ▲ 2.2 | ▲ 6.5 | ↘ |
| 人手 | ▲ 20.7 | ▲ 10.0 | ▲ 13.2 | ▲ 18.3 | ▲ 19.4 | ↘ |

## ■ サービス業 （ 回答先 101 ）

**業況DIは悪化が継続、**
**来期も業況DIは悪化が継続する見込み**

**＜今 期＞**

今期の業況判断ＤＩは、前期比６.９ポイント低下の３.０となった。

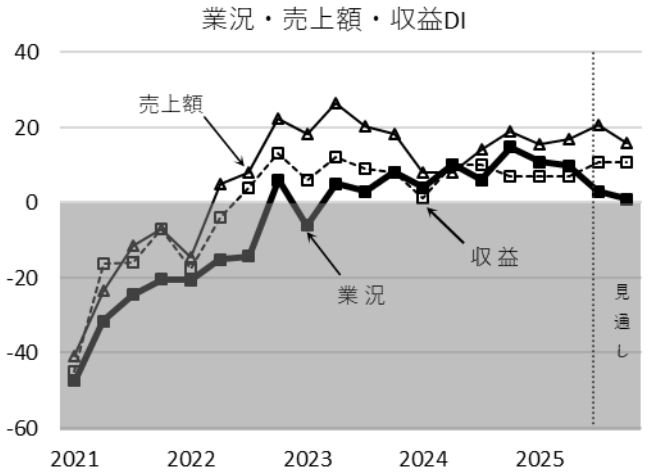
売上額ＤＩは前期比４.０ポイント上昇の２０.８、収益ＤＩは同４.０ポイント上昇の１０.９となった。

料金価格ＤＩは前期比３.０ポイント上昇の２１.８、材料価格ＤＩは同６.０ポイント上昇の３２.７となった。

人手ＤＩは、前期比４.０ポイント低下の－２９.７となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比２.０ポイント低下の１.０、売上額ＤＩは同５.０ポイント低下の１５.８、収益ＤＩは同横ばいの１０.９を見込んでいる。




＜ サービス業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 14.9 | 10.8 | 9.9 | 3.0 | 1.0 | ↘ |
| 売上額 | 18.8 | 15.7 | 16.8 | 20.8 | 15.8 | ↘ |
| 収益 | 7.0 | 6.9 | 6.9 | 10.9 | 10.9 | → |
| 料金価格 | 24.8 | 30.4 | 18.8 | 21.8 | 18.8 | ↘ |
| 材料価格 | 35.6 | 36.3 | 26.7 | 32.7 | 29.7 | ↘ |
| 資金繰り | ▲ 1.0 | 0.0 | ▲ 1.0 | ▲ 3.0 | ▲ 3.0 | → |
| 人手 | ▲ 30.7 | ▲ 29.4 | ▲ 25.7 | ▲ 29.7 | ▲ 26.7 | ↗ |

## ■ 建設業（ 回答先 120 ）

**業況DI は悪化、売上額･収益DI 共に改善、**
**来期の業況DI は改善の見込み**

**＜今 期＞**

今期の業況判断ＤＩは、前期比２.５ポイント低下の３０.０となった。

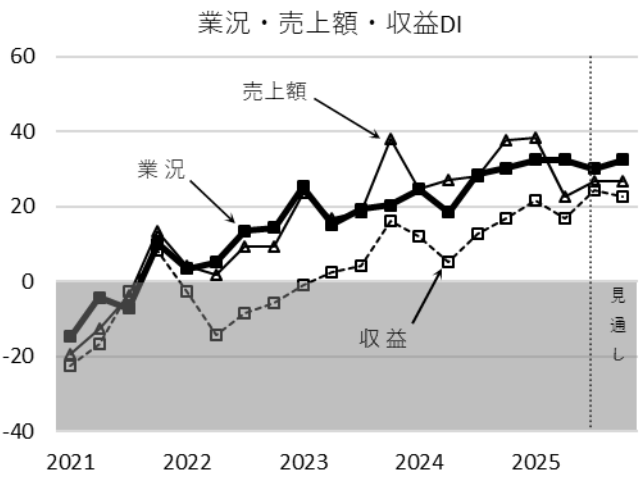
売上額ＤＩは前期比４.２ポイント上昇の２６.７、収益ＤＩは同７.５ポイント上昇の２４.２となった。

請負価格ＤＩは前期比１.７ポイント上昇の２９.２、材料価格ＤＩは同１.６ポイント上昇の４５.８となった。

人手ＤＩは、前期比０.５ポイント低下の－３２.２となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比２.５ポイント上昇の３２.５、売上額ＤＩは同横ばいの２６.７、収益ＤＩは同１.７ポイント低下の２２.５を見込んでいる。




＜ 建設業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 30.3 | 32.5 | 32.5 | 30.0 | 32.5 | ↗ |
| 売上額 | 37.8 | 38.3 | 22.5 | 26.7 | 26.7 | → |
| 収益 | 16.8 | 21.7 | 16.7 | 24.2 | 22.5 | ↘ |
| 請負価格 | 33.6 | 36.7 | 27.5 | 29.2 | 24.2 | ↘ |
| 材料価格 | 54.6 | 60.0 | 44.2 | 45.8 | 40.8 | ↘ |
| 在庫 | ▲ 0.8 | 0.8 | 3.3 | 0.8 | 0.0 | ↘ |
| 資金繰り | 7.6 | 2.5 | 3.3 | 12.5 | 9.2 | ↘ |
| 人手 | ▲ 36.1 | ▲ 36.7 | ▲ 31.7 | ▲ 32.2 | ▲ 34.7 | ↘ |

## ■ 不動産業（ 回答先 67 ）

**業況･収益DI 共に悪化、**
**来期は業況･売上額･収益DI 共に**
**改善の見込み**

**＜今 期＞**

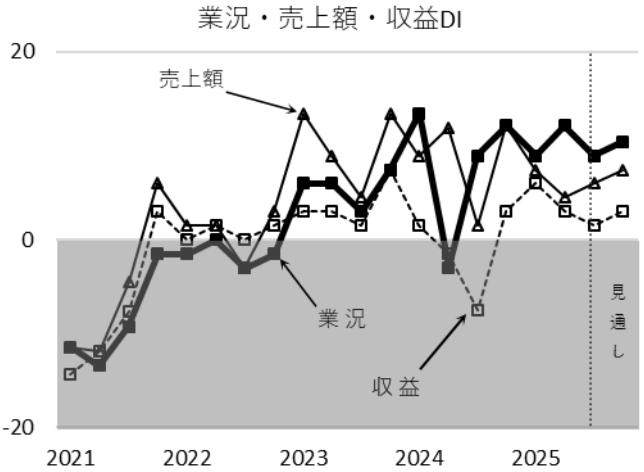
今期の業況判断ＤＩは前期比３.１ポイント低下の９.０となった。

売上額ＤＩは、前期比１.５ポイント上昇の６.０、収益ＤＩは同１.５ポイント低下の１.５となった。

販売価格ＤＩは前期比１２.４ポイント低下の２２.４、仕入価格ＤＩは同１４.０ポイント低下の２５.４となった。

**＜来 期＞**

来期の業況判断ＤＩは今期比１.４ポイント上昇の１０.４、売上額ＤＩは同１.５ポイント上昇の７.５、収益ＤＩは同１.５ポイント上昇の３.０を見込んでいる。




＜ 不動産業 主要DI＞

| | 2024年 10-12月 | 2025年 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | （予想） 10-12月 | 方向 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 業況判断 | 12.1 | 9.0 | 12.1 | 9.0 | 10.4 | ↗ |
| 売上額 | 12.1 | 7.5 | 4.5 | 6.0 | 7.5 | ↗ |
| 収益 | 3.0 | 6.0 | 3.0 | 1.5 | 3.0 | ↗ |
| 販売価格 | 30.3 | 29.9 | 34.8 | 22.4 | 20.9 | ↘ |
| 仕入価格 | 45.5 | 40.3 | 39.4 | 25.4 | 23.9 | ↘ |
| 在庫 | ▲ 4.5 | ▲ 3.0 | ▲ 16.7 | ▲ 10.4 | ▲ 6.0 | ↗ |
| 資金繰り | ▲ 1.5 | 1.5 | 0.0 | 4.5 | 4.5 | → |
| 人手 | ▲ 9.1 | ▲ 10.4 | ▲ 9.1 | 0.0 | 0.0 | → |

## ≪ コ メ ン ト ≫

**＜製造業＞**

- 同業他社の廃業などにより新規受注先が増加し、売上が拡大。〔出版。印刷・同関連産業〕
- 原材料価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できており利幅の縮小は限定的。〔衣服・その他の繊維製品製造〕
- 受注は増加しているが、仕入価格の上昇により収益は微増。〔プラスチック製品製造〕

**＜卸売業＞**

- 増収減益推移となっているため、販売価格への転嫁により利益率の向上を図る。〔建築材料〕
- 取引先動向の影響が強いため、販路拡大を図る方針。〔建築材料〕
- インバウンドによる和牛需要により売上好調。〔農畜産物・水産物〕

**＜小売業＞**

- EC サイトの利用により販路拡大も、送料・手数料により利益率は悪化。〔その他〕
- 客単価が上昇し売上拡大も、価格転嫁ができておらず課題。〔その他〕
- インバウンド需要も追い風となり、堅調に推移。〔飲食料品〕

**＜サービス業＞**

- 部品や消耗品の仕入価格が上昇、100%の価格転嫁はできておらず粗利が減少。〔自動車整備〕
- 人手不足により受注を控えている状況にあり、売上増加につなげられていない。〔その他〕
- 運送業者が不足しているのか、新規顧客による受注が増加。〔その他〕

**＜建設業＞**

- 受注増加により売上増加も、外注先を含め人手不足。〔識別工事（塗装）〕
- 仕入価格上昇に伴い利幅が縮小、受注単価の引き上げ交渉を実施予定。〔識別工事（土木）〕
- 増収増益を見込むが、資金繰りに苦労している状況。〔識別工事（タイル）〕

**＜不動産業＞**

- 土地や建築材料の仕入価格が高く、利益率の確保に課題。〔建売〕
- 物件の価格高騰により在庫が不足。〔土地売買〕

## 特別調査「不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について」

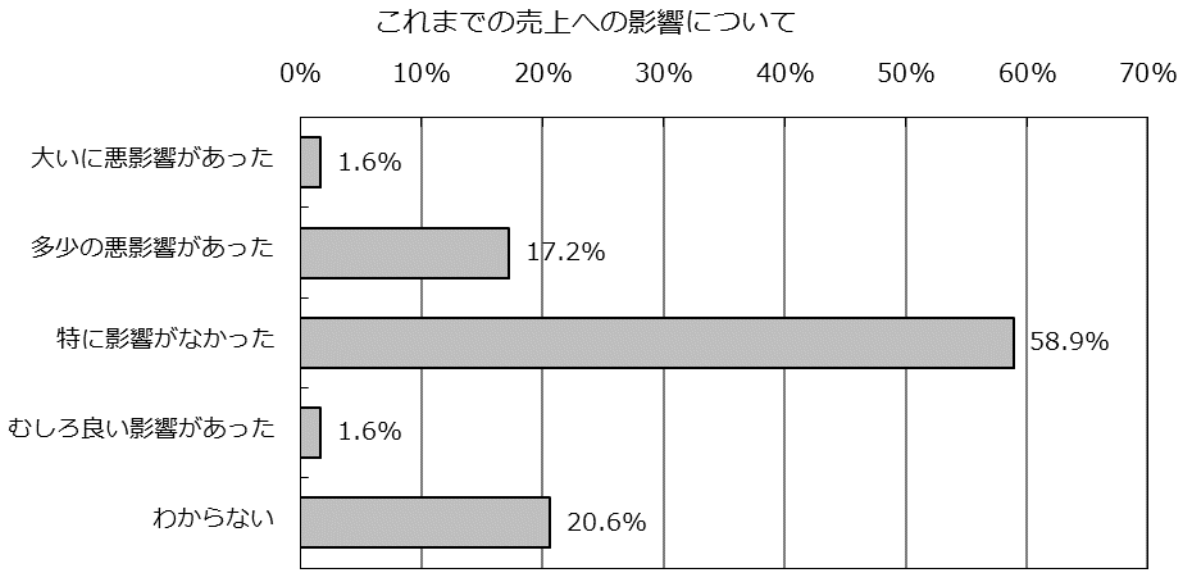
※回答により合計が 100%とならない場合があります。

### Q1. 米国の経済社会政策（関税等）の影響について

米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまでに影響がありましたか。また、今後の売上に影響があると予想しますか。

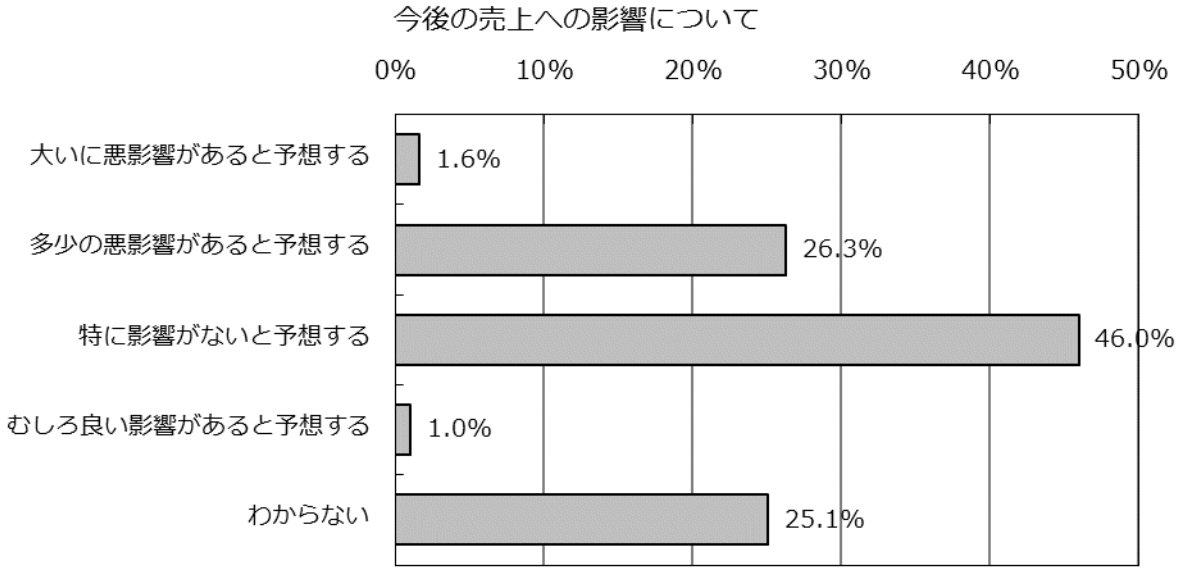
**【これまでの売上への影響について】**

**「特に影響がなかった」（58.9%）が最多、次いで「わからない」（20.6%）が続く**




**【今後の売上への影響について】**

**「特に影響がないと予測する」（46.0%）が最多、次いで「多少の悪影響があると予想する」（26.3%）が続く**

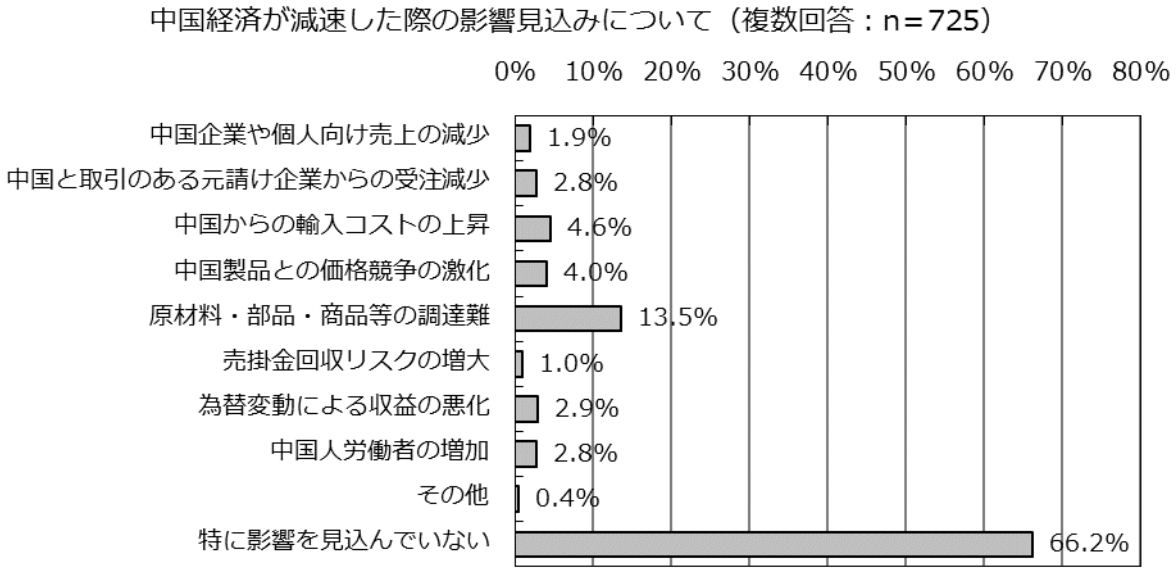


## Q2. 中国経済が減速した際の影響見込みについて

中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。

---

**「特に影響を見込んでいない」（66.2%）が最多、次いで「原材料・部品・商品等の調達難」（13.5%）が続く**



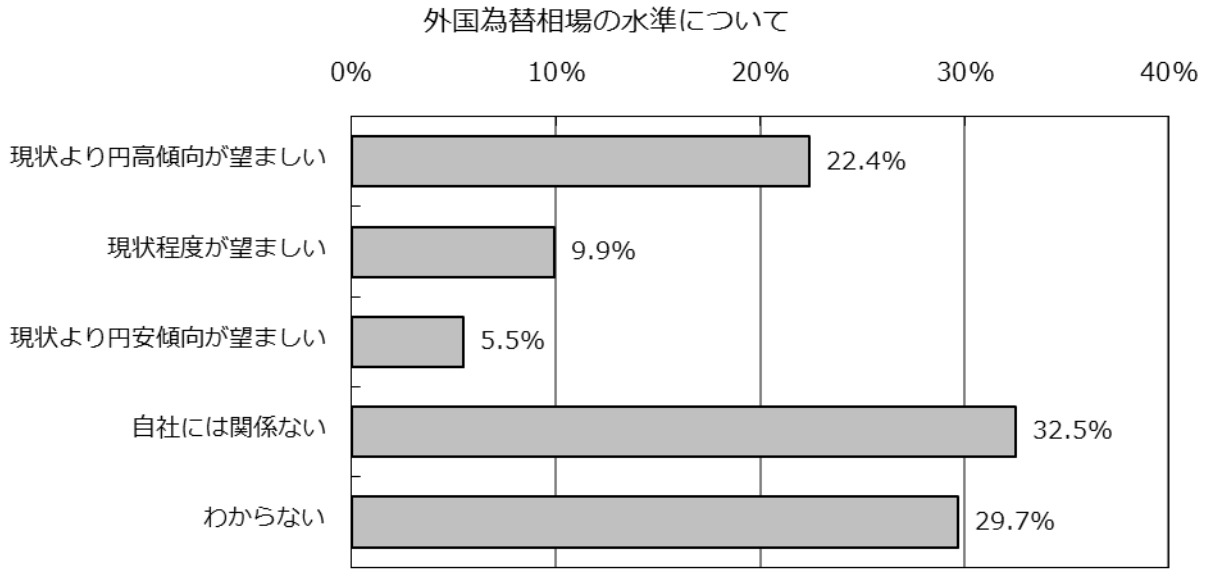
## Q3. 今後の外国為替相場の水準および物価上昇がもたらす影響について

今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準についてお知らせください。また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響についてお知らせください。

---

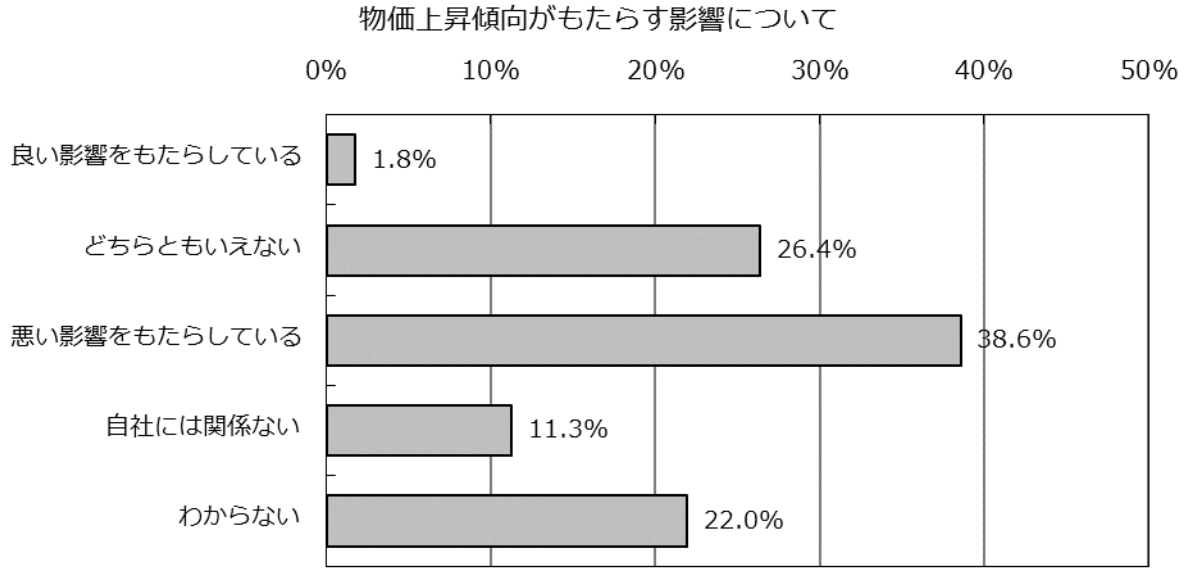
**【今後の外国為替相場の水準について】**

**「自社には関係ない」（32.5%）が最多回答、次いで「わからない」（29.7%）、「現状より円高傾向が望ましい」（22.4%）が続く**




**【物価上昇傾向がもたらす影響について】**

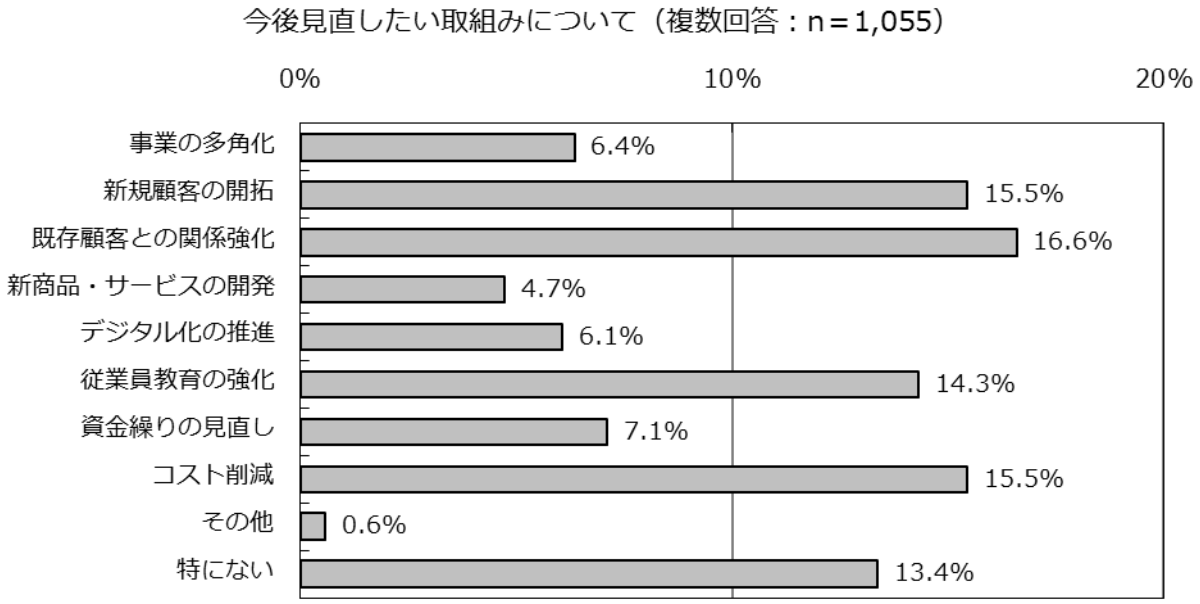
**「悪い影響をもたらしている」（38.6%）が最多回答、次いで「どちらともいえない」（26.4%）が続く**



## Q4. 今後見直したい取組みについて

不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みをお知らせください。

**「既存顧客との関係強化」（16.6%）が最多、次いで「新規顧客の開拓」および「コスト削減」（15.5%）が続く**

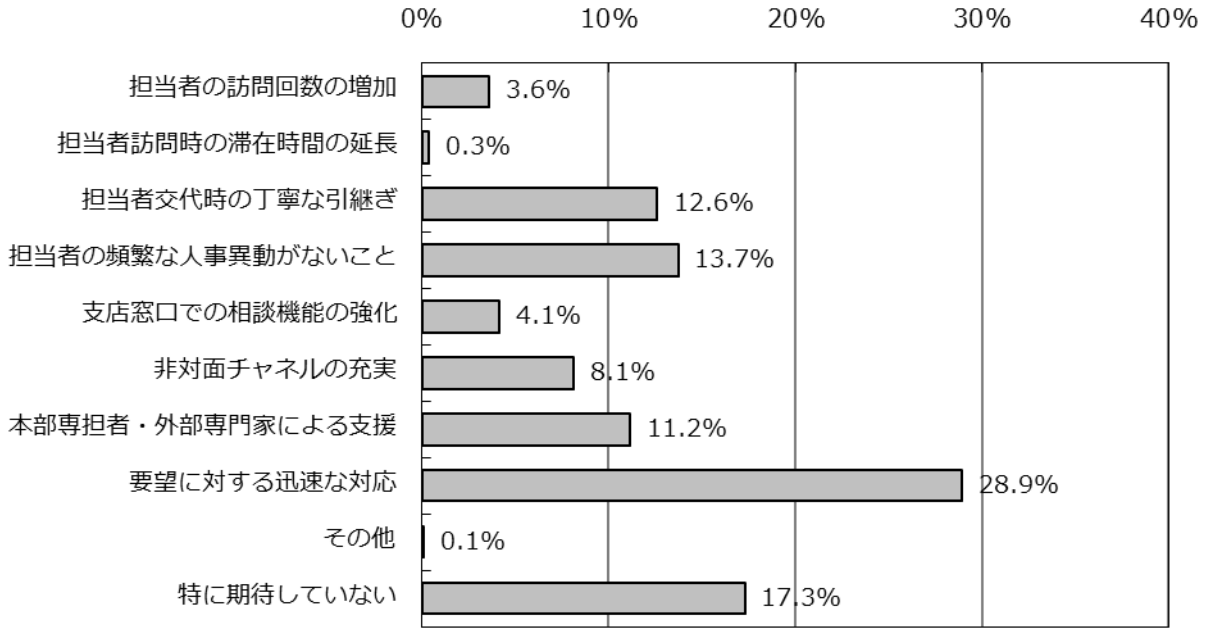


## Q5. 地域金融機関への体制面での要望について

不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについてお知らせください。

**「要望に対する迅速な対応」（28.9%）が最多、次いで「特に期待していない」（17.3%）、「担当者の頻繁な人事異動がないこと」（13.7%）が続く**

地域金融機関への体制面での要望について（複数回答：n=896）




今回の誌上セミナーは休載とさせていただきます。

≪よこしん≫景況レポート

2025 年 10 月発行　NO.137

横浜信用金庫　経営企画部

〒231-8466　横浜市中区尾上町 2 丁目 16 番地 1

TEL. 045-680-6912